

脆弱な中央競技団体の自走化に向けた組織基盤整備

現状・課題

- 令和4年度から「競技団体の組織基盤強化支援事業」を実施し、中央競技団体（NF）のガバナンス強化に向けた取組を支援してきたが、財務省予算執行調査において、パラ団体の申請数自体が少ない傾向にあり、申請もできないほど組織基盤が脆弱なNFには支援が行き届いていないことが明らかとなった。
- 脆弱なNFにおいては、持続可能な組織運営を見据えた中長期計画を策定できていない、もしくは策定していても具体的な行動に移せていない傾向にある。

事業内容

- NFのガバナンス強化においては、リソースを保有する民間企業等との協働が手段の一つとして考えられる。そのため本事業においては、協働相手先の選定や協働内容の具体化に向け、中長期計画及び指針等の策定・見直しを支援するとともに、協働による取組の支援を通じ、自走的な組織運営を行うNFのロールモデル創出をする。
- 本事業の推進にあたっては、支援対象となるNFの主体性が重要となるものの、NF単体ではリソースの不足が懸念されることから、専門家を配備した会議体を形成し、恒常的な支援体制を構築する。

支援対象	組織基盤が特に脆弱なパラ団体等
交付先	計画・戦略策定に係る知見を備えた民間企業等
事業期間	計2年 (1年目：Phase1~3、2年目：Phase4)

1年目／戦略・計画策定及び協働先選定

2年目／協働による取組の支援

Phase1：現状把握

組織の現状(保有するリソース、抱える課題、歴史、存在意義等)を可視化し、目指すべき方向性の道筋を立てる。



Phase2：計画・戦略の策定

目指すべき方向性を踏まえ、中長期計画や指針の策定・見直しを行うとともに、組織の基盤強化に向けた戦略を策定する。



Phase3：協働先の調査・選定

組織の特性や存在意義等と親和性の高い企業の洗い出しを行うとともに、協働に向けた営業活動を実施する。



Phase4：協働による取組

NFと民間企業等との協働による、組織基盤の強化に資する取組を実施するためのイニシャルコストを支援する。

